

名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2022年度版)

12

つくる責任
つかう責任

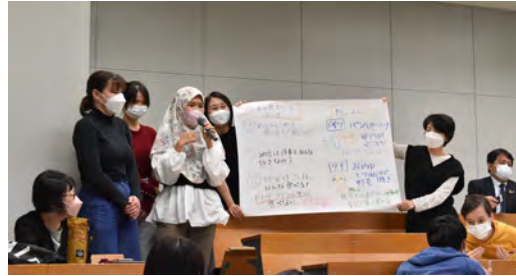


NCUサステナビリティ・ワークショップ2022を開催



<p>活動の概要</p>	<p>2022年11月3日にNCUサステナビリティ・ワークショップ2022「食から考える持続可能な都市 名古屋」(名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我幸代研究室主催、名古屋市・名古屋市教育委員会・名古屋市立大学SDGsセンター後援)を開催しました。食は、私たちの生活に欠かすことができません。昨年度、テーマに掲げた防災をはじめ、SDGsのゴールにもある貧困や飢餓、健康、エネルギー、気候変動、生物多様性にも深く関わっています。また、その生産・消費・廃棄に目をむければ、経済や産業構造にも関連することは想像に難くありません。さらにそれには、各地域の文化が反映されています。たとえば、国際理解教育において、食は3F (Food, Festival, Fashion) のひとつとして、文化交流に活用され、多文化共生においては重要な役割を担っています。</p> <p>しかしながら名古屋という都市社会において、生産活動にどう関わっているのか、消費・廃棄活動をサステナビリティの視点から考えられているのか、社会的公正に配慮しているのかと問われれば、多くの人は答えにつまるのではないのでしょうか。実際、私たちの食はグローバルにもまたローカルにも関連し、さまざまな要因でその循環やつながりが止まることもあり得ます。サステナビリティの視点から食の循環やつながりを改めて問い返し、生活者としてどのような行動をとれば、持続可能な食のあり様に繋がるのかを考える機会として、本ワークショップは開催されました。</p> <p>本ワークショップでは、食とSDGsを掛け合わせ、不確実性の高い時代に生きる私たちにとってすべきことは何かを考えました。子ども・若者の視点から、何を問題としてあげ、それらにどのように取り組むことが求められるのかを考え、発表しました。その上で、SDGsのアイコンを街中でよく見掛けるようになった昨今のSDGs未来都市としての名古屋のあり様を考え、参加者全員で自らの足元から考えました。</p> <p>【開催日時・場所】 2022年11月3日 午後1時半から3時半まで 名古屋市立大学滝子(山の畑)キャンパス1号館2階201教室他</p> <p>【スケジュール】 午後1時30分から午後1時40分 開会の挨拶・趣旨説明 午後1時40分から午後1時45分 ワークショップの説明・各会場へ移動 午後1時45分から午後2時35分 高校生・大学生協働ワークショップ 午後2時40分から午後3時20分 全体会 午後3時20分から午後3時30分 閉会の挨拶 (SDGsセンター長 薬学研究科教授 林秀敏)</p> <p>【参加校・ゼミ】 (高校生) 名古屋市立菊里高等学校 名古屋市立北高等学校 名古屋市立工芸高等学校 名古屋市立名東高等学校 (大学生) 名古屋市立大学看護学部地域保健看護学ゼミ 名古屋市立大学高等教育院サロンクラス (AE: Raise Health/Environmental Awareness) 名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科椎名ゼミ 名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我ゼミ</p>
<p>参加者の声</p>	<p>【高校生】 年齢(高校と大学)の壁、そして国の壁を越えて、自分一人では思いつかないような考えを知ることができました。短い時間の中で濃い内容を扱えたが、欲を言えばもう少しグループワークの時間が欲しかったです。今回、どの班からも「地産地消」というキーワードが出てきて、皆が共通して考えている問題だと実感しました。また、「食」というテーマの元で話し合われた今日ですが、これはSDGsの様々な課題に関係していること、そして世界中に注目されていて人間社会という大きなスケールで考えさせられるテーマであることが分かりました。(=食一つとっているんな事を考えられる。SDGsに関して視野が広がる。)このような貴重な機会を設けて頂き大変嬉しかったです。ありがとうございます。早速、今日家に帰ってから家族に共有し、学校でも発表できるので積極的に得たものを外へと広げていこうと思います。</p> <p>【高校生】 高校の中では聞けないようなお話がたくさん聞くことができたし、食についての知識も深まりました。また今回の大学生の方や初対面の方とグループ活動していくなかで自分にしゃべれる力だったり積極性だったりがあったらもっといろいろな人と交流できたのかなとも思いました。</p> <p>【大学生】 さまざまな分野の視点から食の問題や解決策について考えることができた。名古屋市立の高</p>

	<p>校の生徒さんとも交流することができ、高校生が地産地消や栄養不足の問題に着目した活動に積極的に取り組んでいることを知った。「持続可能な都市名古屋」になるためには、人々が地域の特色やSDGsへの取り組みに目を向け、問題意識を持たなければならないと感じた。「食」という我々の生活に欠かせないことから問題を考えていくことで、一人ひとりが身近にあふれている改善点を見つけやすいと思った。</p> <p>【大学生】「食」というテーマひとつで健康について、多文化について、コンポストについて、伝統野菜についてなどたくさんのテーマに触れられた点がとてもおもしろかったです。一件共通点の見えないたくさんのテーマでも、「たしかにつながるかも!!」「これも同じだ!」とあとから見えてくる共通のポイントがあったこともみんなで楽しむことができました。ふだん触れることのない分野やフレッシュな高校生の取り組みに触れられる良い機会でした。</p>
活動の時期	2022年11月



国際交流センター主催講演会「岐路に立つドイツのエネルギー政策」を開催



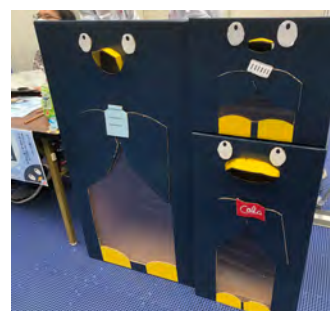
活動の概要	<p>2022年11月11日、本学は国際交流センター主催講演会「岐路に立つドイツのエネルギー政策 欧州の最新事情から日本の今後を読み解く」を開催しました。講師に本学協定校のルートヴィクスハーフェン経済大学よりフランク・レーヴェカンプ教授をお招きしたこの講演会には、本学学生・教職員合わせて36名が参加しました。</p> <p>当日は、講師による欧州情勢やクリーンエネルギー開発を含めたエネルギー問題等に関する講義の後、参加者とのQA、フリーディスカッションが行われました。参加者からは、今後のエネルギー戦略等に関する積極的な質問や発言がありました。</p>
活動の時期	2022年11月
関連URL	https://www.nagoya-cu.ac.jp/english/news/2022111402/



名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2022 に参加



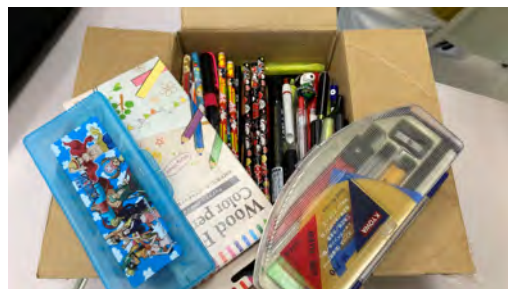
活動の概要	<p>2022年11月26日、本学の人文社会学部の伊藤恭彦教授ゼミ「NCU Global Justice Project」が、オアシス 21銀河の広場で開催された名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2022に参加しました。名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2022は、SDGs達成のための消費行動であるエシカル消費をはじめ消費生活に関する様々な知識を学ぶため、消費者団体や事業者団体、学校、行政機関が一体となって開催するイベントです。</p> <p>本学から参加した「NCU Global Justice Project」のブースでは、ゼミの取り組みを紹介するパネルの展示の他、ゼミで現在作成しているプラスチックごみ削減のための段ボール製のリサイクルボックスの展示を行いました。この段ボール製リサイクルボックスはレンゴー株式会社豊橋工場との連携によって作成しました。</p>
活動の時期	2022年11月
関連URL	名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2022パンフレット



Make the Future Bright through Education (本学SDGs アンバサダーの活動紹介)



<p>活動の概要</p>	<p>【本学SDGsアンバサダーである学生グループ「NCU Time to Act Now」の活動紹介】</p> <p>①12月3日、私たちは港区の地域日本語教室「アウラ・ド・キューバ」のボランティアに参加しました。これは、「AE Raise Health / Environmental Awareness」という授業の一環で、SDGsに貢献するボランティアを行うというプロジェクトのもとで行われました。外国人労働者が多く滞在する港区の地域で開かれている日本語教室に講師として参加し、外国人の生徒の方に日本語の文法や単語、発音を教える一方で、コミュニケーションも多くなり、日本や海外の教育の現状について学びました。外国人の方に直接教育の現状について話を聞ける貴重な機会だったので、非常にいい経験になりました。</p> <p>②12月15日、私たちは「ECO Trading」という不用品を回収し、発展途上国に寄付している団体に文房具を郵送しました。この文房具は、ECO Tradingで仕分けされ、海外のリサイクルショップに送られ、現地で活用されます。貧困や技術不足でまともな勉強道具がなく十分に教育が受けられていない発展途上国の子どもたちに、微力ながら貢献できたのではないかと思います。</p>
<p>活動の時期</p>	<p>September 2022 – January 2023</p>
<p>関連URL</p>	<p>NCU Time to Act Now Instagram account</p>



Build the Buildings, Then Build Beautiful Earth (本学SDGsアンバサダーの活動紹介)



活動の概要	<p>【本学SDGsアンバサダーである学生グループ「NCU Time to Act Now」の活動紹介】</p> <p>2022年12月24日、イオンモール大垣にてSDGs活動を支持する企業がそれぞれの形でSDGsにまつわるイベントを開催しました。私たちはその中で株式会社LILIFULL様と株式会社艶金様のブースにて活動に参加しました。LILIFULL様は「マーブルクレヨンプロジェクト」という活動を支援されています。マーブルクレヨンプロジェクトとはいらなくなったクレヨンを回収し、マーブルクレヨンとしてよみがえらせ、その過程及び成果を提供するという活動です。12月24日の企画はブースに子どもたちを招き子どもたちにマーブルクレヨンを作ってもらおうというものであり、今回私たちはその企画の運営の一員として子どもたちの作業の手伝いを主に行いました。艶金様のブースでは野菜のくずなどゴミで色付けした布切れを使用し食品用ラップを作るという体験型企画が催されており、私たちは実際に参加者としてブースを体験し、ブースで活動を支援した後、取締役の方にお話を伺いました。</p>
活動の時期	September 2022 - January 2023
関連URL	NCU Time to Act Now Instagram account



SDGs IDEA FORUM 2022で本学学生が最優秀賞、特別賞を受賞！



活動の概要	<p>本学では、名古屋市と連携して、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2022」を実施しています。</p> <p>総数25件の応募アイデアのうち、書類審査を通過した優秀8チームが参加する「SDGs IDEA コンテスト」が2023年2月26日に本学さくら講堂で開催され、本学から参加した「ばくツーリズム」（人文社会学部3年）が最優秀賞を、「濱口ゼミ」（経済学部4年）が特別賞を受賞しました。</p>
活動の時期	2023年2月
関連URL	SDGs IDEA FORUM WEBサイト



【最優秀賞】

チーム名：ばくツーリズム（人文社会学部3年）
 企画名：『なごやばく博物館（なごやばくばくぶつかん）』
 地域課題：「サステナブルな観光都市名古屋の実現」



【特別賞】

チーム名：濱口ゼミ（経済学部4年）
 企画名：『捨てられていたであろう食品を使って子どもの料理教室を開こうプロジェクトー食品ロス削減しつつ子どものコミュニティを作るー』
 地域課題：「地域コミュニティが活性化するまちづくり」

環境デーなごや2022パートナーシップ事業として地域 美化活動を実施



環境デーなごや2022パートナーシップ事業の一環として、2022年6月3日（金）に桜山（川澄）キャンパス周辺の地域美化活動を行いました。

当日は、生き物との共生・脱炭素社会の実現・循環型社会の構築などをテーマに、それぞれの地域で清掃活動や環境学習などを実施する「地域行事」として、SDGsセンターの林センター長を含む教職員と学生13名が、キャンパス周辺の清掃を行いました。

環境デーなごやの詳細については、以下のサイトをご覧ください。

[「環境デーなごや」のホームページ](#)



SDGs IDEA 研究会を開催



<p>活動の概要</p>	<p>本学は、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2022」を名古屋市と共催しています。この活動の一環として、2022年12月14日に、SDGs IDEA 研究会を開催しました。</p> <p>当日は、SDGs IDEA FORUM 2022にエントリーしている名古屋市内の学生36名が参加しました。賛同企業による企業紹介、SDGs IDEA FORUM 2021最優秀賞受賞チーム（南山大学 ロバートゼミ「フードロス×教育」）によるプレゼンテーションの後、参加学生同士の交流会が行われ、1月15日提出期限のアイデアシート作成に向けた情報交換が行われました。</p> <p>【SDGs IDEA FORUM 2022でアイデアを募集する4つの地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジェンダー平等を実現する社会づくり ●地域コミュニティが活性化するまちづくり ●サステナブルな観光都市名古屋の実現 ●脱炭素社会をめざすまちづくり
<p>活動の時期</p>	<p>2022年12月</p>
<p>関連URL</p>	<p>SDGs IDEA FORUM 2022 WEBサイト</p>

